

こんにちは日本共産党です

広陵民報

2013(平成25)年1・2月-021

発行：日本共産党広陵支部
町会議員：八尾 春雄 0745-60-0972
snkb30217@hera.eonet.ne.jp
町会議員：山田みつよ 0745-55-7003
yamada.mituyo@beige.plala.or.jp



「ナンカレー・海藻サラダ・牛乳」
平成24年7月10日広陵東小学校給食

町議会は請願通りの中学校給食の実現を申し入れることに

平成23年12月議会で中学校給食の実施を求める請願が全会一致で採択されました。町議会では「中学校給食検討特別委員会」を設置し、本町や近隣の学校給食の視察研修を実施してきましたが、去

中学校給食実現・25年度予算計上をめざす

要望署名にご協力を！

る11月20日の特別委員会では①採択された請願内容を踏まえた学校給食の実施
②学校給食法に基づく学校給食の実施
③平成25年度予算に必要な予算を計上する事、の3点を町長に申し入れることを確認しました。

町長も議会答弁や町広報(こりょう)(元日号)などで実施すると明言するまでにいたっていますが、肝心の教育委員会では中学校給食懇話会で「中学校給食を実施するか実施しないのかの検討」を継続し結論を出していません。

署名活動にご協力を！

そこで平成25年度に請願通りの中学校給食を是非実施してほしいとの趣旨から現在署名活動に取り組んでいます。たくさん皆さんが署名にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。二月中旬に町長・教育長に提出する予定です。

12月議会報告

法律改定に伴う町条例の制定と改定が多数上程されました

12月議会では、国会が昨年8月26日「地域改革推進第二次一括法」を制定したことにより、これまで国が基準を設けてきた事柄(福祉・道路・河川・公園・水道等)を地方自治体の責任により条例で定めることにしたため、多岐にわたり多数の条例が提案されましたが、特に住民のくらしや権利を後退させるものが見当た

らなかったため、日本共産党議員団は、いずれの提案にも賛成しました。但し、これらの条例の運用には熟練した役場職員の確保が必要になります。

町独自の浄水施設建設の検討を行うこと！

平成24年3月議会に水道特別委員会報告を行い(委員長：青木議員)、まさかの時に備えて自己水の確保を提言していたのに、町は10月から浄水施設を閉鎖し

県水100%に移行しています。県はいったん水道料金を値下げするとしていますが大滝ダムの費用をいずれ料金に上乗せしてくることも予想され予断を許しません。日本共産党議員団は、規模は小さくても町独自の浄水施設建設は必要で、まさかの時の備えと価格の抑制を提案しています。これまでの水道局施設・土地を他に転用する計画は慎重に対応すべきです。

日本共産党議員団は2本の意見書を提案

「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書」

政府は女性差別撤廃条約を既に批准したのに選択議定書の批准を怠っているため実効あるものになっていません。選択議定書は女性差別の事実を国連に通報すると国連は内容を確認して問題解決のために勧告を行うこととしており、一昨年奈良弁護士会も同趣旨の意見書を国に送っています。

「米国でのBSE発生を受けBSEの規制緩和に抗議しTPPへの参加表明への撤回を求める意見書」

TPPは例外なき関税ゼロを求められ、国内の農業・医療・産業・雇用に重大なマイナスの影響を与えることから反対を提案しました。全国町村長会ではこれまで3回もTPP反対を決議し国に申し入れています。

残念ながらいずれも賛成少数で否決となりましたが、これらの意見書に反対した議員の責任が問われます。

「緊急事態基本法の早期制定を求める意見書」は取り下げに

「日本国憲法は平時を前提にしており緊急事態に対応できない」と規定した意見書が提案されました。提案者は元役場職員で、採用時に日本国憲法遵守を誓約

しておりそれに反する態度です。また、9月議会で採択された平和的な外交交渉による領土問題の解決を求めた意見書とも異なる内容です。結果、みずから意見書を取り下げられました。日本共産党議員団は、現憲法を守る運動を大いに強めて行きます。

元日本共産党衆院議員

辻第一さんが死去

日本共産党の元衆議院議員の辻第一(つじ・だいち)さん(本名：いづみ)さんが1月4日、死去しました。86歳でした。1926年生まれ。1946年京都大学医学部附属医学専門部卒。内科医で岡谷会岡谷病院(現おかたに病院)に勤務後、片桐民主病院(現・



辻 第一さん

5期連続当選。93年の総選挙で落選しましたが、96年の総選挙で比例区近畿ブロックから当選。通算6期つとめ、2000年に引退しました。国会で内閣・決算・運輸・建設の各常任委員と交通安全特別委員などを歴任。「いのち第一、くらし大切」をモットーに活動。初登壇の日、奈良県に救命救急センターの設置を厚生省(当時)に申し入れをするなど尽力し、県立奈良病院に実現しました。ドクターヘリやドクターズカーの導入を先駆的に提起、大滝ダムで地滑りの危険があると指摘(80年)、規制緩和を推進する建築基準法改悪反対の論陣を張る(98年)など活躍しました。国会議員在職中、本紙に「折々のスケッチ」を連載しました。昨年6月10日号に掲載したスケッチが最後になりました。

政治は国民のために

日本共産党

http://www.jcp.or.jp/ info@jcp.or.jp

子育て 安心の国づくりを

●認可保育所をふやし、待機児童をなくす
●子育てしやすい、働く環境をつくる

質問一：広陵町の財政はどんな状況になっているのか。

平成23年度決算によれば、水道会計を除き総収入は178億円、起債残高(借金)は217億円、基金残高23億円であり、一般会計では8億円の赤字となっている。これを年収500万円の家庭になぞらえるとうなるか。

答弁：町長 年収500万円の家庭になぞらえると、生活費とローン返済合計で484万円の支出なので16万円の赤字決算だ。また、起債(借金)を返済すると、いずれ交付税交付金として一部が町に還ってくるので、この額を差し引くと実質的な借金残高は273万円に相当する。定期預金が66万円ある。今後も最小の経費で最大の効果を上げて行きたい。

質問二：子育て育成教室を改善してほしい。

子育て育成教室の開始時刻を7時30分からできないか。さらに18時までには保護者(兄弟による迎えは不可)が迎えに行かねばならず、これでは正社員で母親が働き続けることは困難だ。病児保育も実施してほしい。仕事を継続できない場合もあり、公的支援体制が必要だ。

答弁：町長 子育て育成教室は朝8時30分からだが、通勤のため早朝開所希望があれば可能な範囲で対応している。病児保育は看護士の配置も必要であり極めて難しい。

質問二：廃屋の解体撤去や樹木の剪定を的確に行ってもらいたい。

南郷の廃屋が今般解体撤去され更地になっている(下の写真をご覧下さい)。大字役員の皆さんが努力された結果だ。町内には他にも人の住まない建物があり、近所の方から心配の声がある。また、公道に大きくせり出した樹木の剪定が進んでいない。今後どのように取り組むのか。環境保全条例の適用も検討すべきだ。

答弁：町長 処分しようにも譲渡先が見つからない、解体費用が捻出できない等の事情を把握しており、個別に対応する。条例による命令文書の発送は避けたいが、やむを得ない場合には命令文書の発布を考えた。

山田みつよ 一般質問

質問一：中学校給食実施の決断を

中学校給食実現の請願が採択されて1年が経過し、反対されている方の意見も出尽くしたと思います。1日も早く実現に向けた計画を具体化して欲しい。兵庫県芦屋市では今年3月に実施の報告が出され、7月に実施検討委員会が発足。12月には自校方式で作った際の給食が良いと結論をまとめる予定です。

答弁：町長 平成25年度の主要事業として位置づけるため教育委員会部門との調整中。教育長「懇談会」で視察研修して先進地の取り組みを比較検討してまとめたい。

質問二：就学援助制度の充実を！

小、中学生が安心して義務教育を受けられるよう経済的に厳しい家庭に、学用



(解体工事開始！)

(きれいに撤去できました！)

品や給食費など費用の一部を援助するこの制度をもっと充実させ、所得基準などの例を挙げて解りやすい申し込み書の形式にするなど改善してほしい。

答弁：教育長 柔道着や剣道用具、メガネや卒業アルバムなどは全ての児童生徒が適正に就学援助出来る為研究します。

質問三：生存権を脅かす差し押さえは憲法違反だ。直ちに改めよ。

16万円の給料が口座に入った途端10万円を町に差し押さえられ、食べ物もなくなり生活に困窮すると言う事例が9月におき異議申し立ても却下になりました。担当課長は「差し押さえ件数600件の内ほぼ5%はこういう非道な取り立てを広陵町で行っている」と発言している。こういう憲法違反の差し押さえは止めべきだ。

答弁：町長 町税は大切な財源。定められたルールにより税を収納して頂く。

12月議会意見書等の賛否

(敬称略) <賛成○・反対×>

意見書/動議等	日本共産党		公明党		民主党		無所属							結果	
	八尾春雄	山田みつよ	吉村	山村	坂口	堀川	谷	坂野	竹村	奥本	吉田	青木	笹井		八代
女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議長のため採決に参加しません	×	×	賛成4 反対9で 否決
TPPへの参加表明の撤回を求める意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成2 反対11で 否決
「緊急事態法」の早期制定を求める意見書	(常任委員会での審議後、提案者が取り下げました)														



村上豊一さんありがとう

県会議員 今井光子

大晦日に亡くなられた御所市の元市議村上豊一(とよかず)さん(享年75歳)さんのお通夜に参列させていただきました。寒い夜でしたが、たくさんの参列者ご自宅前の道路にいつぱいで、とよさんの人柄を表わすようなお通夜でした。妻の誠子さんが参列者の方に挨拶。36歳から9期36年間、日本共産党の御所市議としてがんばってきたことを紹介。最初の時は尿処理の汲み取り問題を取り上げたそうです。家によって、人によって、基準がはつきりしないため、料金がばらばらで皆さん不満があっても正面からこの問題を取り上げる人が誰もいなかったようです。初質問の前の晩、「明日の質問を取りやめる。」と業者が札束を届けに来たそうですが、とよさんは「そんなもん受け取れるか!」ときっぱり拒否。翌日決して上手に言えたわけではないけれど堂々と質問。

最期は、入院されていてお正月につれて帰ろうと家族とお迎えに行き、誠子さんがヒゲそりしているときにそのまま眠るようにお亡くなりになったそうです。

私は、学生時代に部落問題と出会い、部落差別がなくなるように私にもできることがあるのではと、民主医療機関連合会の診療所のソーシャルワーカーになるため、奈良県に知り合いがいなかった一人で行って来ました。そんなこともあった村上ご夫婦には一方ならぬお世話になりました。とよさん長い間本当にありがとうございました。どうかお眠りください。

私たちを見守ってください。

